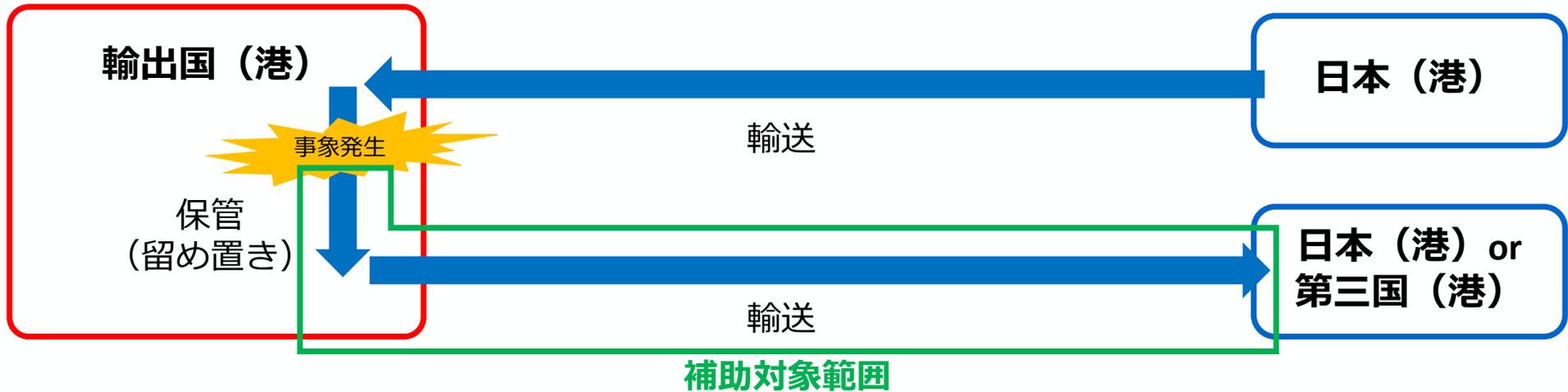
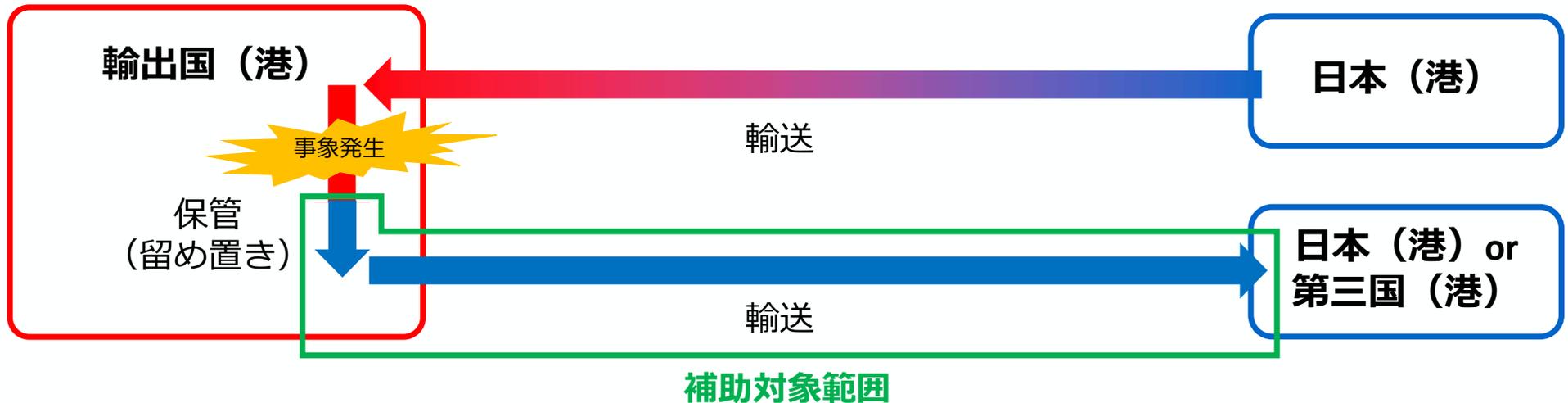


①水産物の所有権が日本側にあって留め置かれるケース ※所有権が青は輸出元（日本）、赤は輸出先（輸出国）



②水産物の所有権が輸出国事業者に譲渡され、留め置かれた際、輸出国事業者から契約不履行に基づく契約破棄等により所有権が日本から輸出した事業者に戻されてしまうケース



※ここでいう輸出国とは、ALPS処理水放出以降に輸入規制を強化した一部の国・地域のこと。